

製品名: UCP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21560**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:33kD;Observed MW:33kD

抗原情報

遺伝子名	UCP1
別名	SLC25A7 UCP
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P12242
免疫原	マウス UCP1 の合成ペプチド

背景

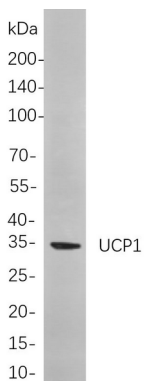
細胞局在: 細胞質。ミトコンドリア脱共役タンパク質 (UCP) は、ミトコンドリア陰イオン輸送タンパク質 (MACP) ファミリーの一員です。UCP は、酸化リン酸化と ATP 合成を分離し、その際にエネルギーを熱として散逸させます。この現象はミトコンドリア

プロトンリークとも呼ばれます。UCPは、ミトコンドリア内膜から外膜への陰イオンの移動と、ミトコンドリア外膜から内膜への陽子の移動を促進します。また、哺乳類細胞においてミトコンドリア膜電位を低下させます。UCPの種類によって組織特異性があり、UCPがH⁺/OH⁻を輸送する正確な方法は解明されていません。UCPはMACPの相同タンパク質ドメインを3つ含んでいます。この遺伝子は、熱産生を担う特殊な組織である褐色脂肪組織でのみ発現しています。[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



UCP1 ウサギ mAb を用いたマウス白色脂肪細胞ライセートのウェスタンブロット解析。
抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。